東京ジャーミイ金曜日のホタバ

礼　拝　の　英　知

2011年8月19日

親愛なるムスリムの皆様。私たちの教えでは、信仰についでアッラーに対する最も重要な務めは礼拝です。礼拝は、無限の恵みに対してアッラーに感謝と称賛を捧げ、罪の赦しのために心と舌と体を一つにして行なっている崇拝行為です。

礼拝はまずアッラーが命じられたためにおこなわれます。同時に、全ての崇拝行為と同様、礼拝にも宗教的、現世的、精神的、道徳的、社会的、さらには肉体的な多くの効用と英知があります。預言者ムハンマドの表現を用いるなら、教えの柱である礼拝は、苦しい時の避難所であり、喜んでいる時の感謝の場なのです。

クルアーンで示されているところによるなら、正しく行なわれる礼拝は物惜しみすることへの薬であり、社会的相互援助、扶助の動力です。日に5回の礼拝で40回「私たちはあなたのみ崇め讃え、あなたにのみ助けを乞い願う」と唱え、アッラーへの服従と信頼を示します。礼拝は精神を高め、人を地獄の刑罰から救い、天国に入る状態とします。人生を豊かにし、疲れを取り除きます。預言者ムハンマドは礼拝がいやしをもたらすことの示唆として、「ビラールよ、立ちなさい、イカーマを行ないなさい。礼拝をし、楽になりましょう」といわれていました。

親愛なる兄弟姉妹の皆様。心理学の専門家によるなら、畏敬の念とイフラースをもって礼拝を行なう人の生は新たにされ、エネルギーが増します。より成功し、より豊かなものとなります。礼拝は怒りを鎮め、苦しみを散らし、悲しみを取り除きます。アーイシャさまは「アッラーの使徒は悲しい、つらい出来事があった時にはすぐに礼拝を行なわれた。」と語っています。礼拝は平等のシンボルです。信者たちを融合させ、一体化させ、その心をアッラーに結び付けます。礼拝がなされている家では、仕事に豊かさや活気、恵み、活力、秩序が与えられます。

親愛なるムスリムの皆様。肉体的、精神的な生活に秩序を与え、数え切れない英知を備えている礼拝を忘れないようにしましょう。二つの礼拝の時刻の間で、魂は礼拝によって清められるのです。心はアッラーを想念することでやすらぎを得ます。

フトバを次のハディースで締めくくります。「誰であれよい形でウドゥーを行い、ルクーや畏怖の念を完全に伴ってアッラーが義務とされた礼拝を行なえば、アッラーはその人を許されると約束された。それを行なわない人にはアッラーの保証はない。お心のままに許されるかもしれないし、罰を与えられるかもしれない。」